

2022 年度(52 期) 事業報告書

1 概況

本年度(2022 年度)は、事業目標である「成長に向けた事業基盤の強化」を達成すべく、計画した高井戸事業所の改修工事を遂行し、8 月にリニューアルオープンした。リニューアルオープンに伴い、施設名称も高井戸東健診クリニックから「診療所 杉並健診プラザ」へ変更した。施設健診事業では当初の計画通り 5 ヶ月間休業したが、改修工事を行った事で、受診者待合、検査室等の内装やスペースを拡充し、医療機器の増設、男女別専用フロア(一部供用)とする事で受診者へのサービス向上およびイメージアップが図れた。保健指導事業においても面談室の増設により事業の推進、作業環境では事務スペースの動線を見直し、より一層の業務効率化を図る事で、収入予算を上回る事ができた。既存エレベーター更新や看板設置等、一部の工事は次年度(2023 年度)へ持ち越しとなった。

また、長野県支部は、築 7 年が経過しており施設の再認知と印象効果を高める為、看板の建て替えと健診フロアの改修に着手し、4 月中旬にリニューアルオープンを予定している。

2 公益事業

1) 保健指導及び健康教育等の事業

オンラインを活用した健康支援に定着し、特定保健指導、セミナー、メンタルフォローなどいずれもオンラインを中心に行った。効率化が図れた事で、遠隔地に勤務する人や、より多くの方を支援する事に繋がっている。コロナ禍で長時間の座位によるリモートワークに従事する人が増えた事から、「座りっぱなしにならない」為のセミナーを実施。更に人との交流が減っている状況を踏まえ「笑いの大切さ」を伝えるセミナーを行うなど、現在の課題に即したテーマで健康づくりを行った。また、例年実施していた健康増進の啓発を目的とした「健康づくり講座」は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、事前収録をした動画を各事業所や区民健診受診者に向け実施。講座動画を著名人にご出演いただく事で、より多くの方に関心を持っていただけるような構成とした。

2) 健康保持・健康増進の為の広報活動

年 4 回発行する広報誌「バランス」では健康保持・健康増進に関わる情報を広く公開。

タイムリー且つ有用な記事を多く取り入れつつ、今年で発行 12 年目を迎えた。

また、財団事業の報告及び健診結果の統計的な分析結果を載せた「事業年報」を毎年発行。地域・行政・健康保険組合等に配布し、併せて財団ホームページにも広く公開した。

3 健康診断事業

1) 東京本部

杉並健診プラザのリニューアルに伴い、近隣の企業へのDM発送と既存客に対しリニューアルオープンを案内した。新規顧客開拓では、飛び込み営業の他、DM発送などを実施した。特に、施設健診の渉外活動では、年度途中のリニューアルにもかかわらず、施設見学により認識度を高めさせる事で、契約の締結に結びつける事ができた。

タブレットを使用した健診運営の初年度であったが、担当毎に習得しルールを構築するリーダーを選任する事で、スムーズな運用構築する事ができた。新システム使用開始当初は戸惑いも見受けられたが、運用が進むにつれ順応する事ができた。

2) 長野県支部

新規顧客獲得と既存客との関係性を深め、次年度への売り上げ増に繋げる事ができた。施設を利用いただいていない事業所にパンフレットを配布し、人間ドック予約に繋がった。また、施設健診を含めて 1 日最大 4 班で調整したが、繁忙期と閑散期の班調整が課題として浮かび上がった。今後は平準化を推進すべく、事業所との健診日程の調整を図っていく。

以上